

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	土屋 尚代
		全体計画						経費区分		-		内線	3614
事務事業名	4249 児童センター運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02020900 子育て環境の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030206 民生費・児童福祉費・児童センター費											
	事業	030000 児童センター運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するための児童クラブの運営と、一般児童に対して健康の増進と情操を豊かにするための児童センターの運営。子育て支援事業の実施。						留守家庭児童を中心に放課後児童健全育成事業を推進するとともに一般児童に対しても健全な遊びの場を提供する。 また、午前中等を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場として、子育て支援事業を実施する。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供した。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供した。	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供した。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供した。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供した。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供した。	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供した。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供した。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		37,173	37,107
特定財源	国庫支出金	5,188	6,478
	都道府県支出金	6,909	6,478
	地方債	0	0
	その他	5,028	5,054
一般財源		20,048	19,097
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.3
	臨時職員	0.3	0.0
人員コスト	正規職員	2,145.0	2,145.0
	嘱託職員	0.0	862.5
	臨時職員	373.5	0.0
	計	2,518.5	3,007.5
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		39,691.5	40,114.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	68	講師謝礼
11節 需用費	1,192	消耗品費、食料費、医薬材料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	34	会議等出席負担金
その他	35,879	賃金・旅費・役務費 ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	80	講師謝礼
11節 需用費	1,846	消耗品費、食料費、医薬材料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	40	会議等出席負担金
その他	35,141	賃金、旅費、役務費、ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童の健康増進と情操を豊かにするため、児童に健全な遊びを提供することにより健全育成を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	留守家庭児童に放課後児童健全育成を推進すると共に、一般児童に対しても健全な遊びの場を提供する。未就園児とその保護者に午前中を開放し、集まりの場として子育て支援事業を実施する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	地域との交流活動の実施。 放課後児童支援員資格取得、児童厚生員研修、館長研修の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
子どもの安全に配慮した健全育成事業を実施できた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
指定管理者制度の導入を進める		ニーズが増す中、運営全般を見直す必要がある。未就園児親子対象の子育て支援部分と、児童センター・児童クラブ事業の同居状態についても、再検討が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	